こんな事故にもご用心 (No.33)

事故ナイトいいね

電子レンジの事故が多くの原因から発生しています

過熱したため『お粥』が突沸

事例

電子レンジで温めたお粥を取り出して容器のふたを開けたところ、ふたと中身が破裂して飛び散り、手や顔にやけどを負った。（2010年８月　埼玉県）

原因

少量のお粥を「自動ボタン」で温め、さらに容器にふたをして密閉していたため、お粥が過加熱状態になり、突沸※が生じたものです。※加熱した液体等が沸点を超えても沸騰しない状態になったとき、振動などの衝撃で突然、激しく沸騰する現象

びんや密封容器のふた等は外してください。過熱に注意してください。
自動加熱機能は定められたものだけ使用してください。
少量の食品は手動加熱機能を使用し、様子を見ながら加熱してください。
飲み物やとろみのあるもの等は、突然沸騰して飛び散ることがあります。加熱前にスプーンなどでかき混ぜてください。
庫内やドアに汚れが付着したまま使用すると、発煙や火花が発生することがあります。庫内をこまめに掃除して使用してください。

加熱時間が長過ぎたために発火

事例

電子レンジで食品を加熱中、庫内から発火した。（2010年５月　埼玉県）

原因

誤って長い時間加熱してしまったため、食品が過熱されて発火したものです。

温めた里いもが過熱により発火しました（ＮＩＴＥの再現実験）

電子レンジを使用する製品は取り扱いに注意してください

ほ乳びん用消毒バッグが破裂

事例

電子レンジでほ乳びん用消毒バッグを加熱中、大きな音がしてレンジの扉が開き、レンジのターンテーブルが割れてほ乳びんが四方に砕け散った。（2007年11月　鹿児島県）

原因

水の入ったほ乳びんに乳首等を付けたまま消毒したため、加熱によりほ乳びんの内圧が上昇して乳首などが吹き飛び、その反動で生じたほ乳びんの水の突沸の衝撃等によるものです。

ふろ湯保温器が破裂

事例

電子レンジで加熱したふろ湯保温器を浴室に運んでいたら、突然破裂して内容物が飛び散って顔と右腕にやけどを負った。（2009年３月　東京都）

原因

使用のたび、規定時間を超える加熱を行っていました。そのため、本体樹脂貼り合わせ部分の強度が低下し、内圧の上昇に耐えられなくなって破損するとともに、溶けた内容物が噴出したものです。

食品以外の製品を使用する際は、決められた出力、加熱時間を守ってください。
また、取扱説明書をよく読んで注意事項等を必ず確認してください。

冷水筒が破裂してやけど

事例

冷水筒に熱湯を入れて運ぼうとしたら、破裂してやけどを負った。（2011年６月　山形県）

原因

製品は冷水専用でした。熱湯を入れてすぐにふたをして使用していたため、内圧が上昇してクラックが発生し破裂したものです。

製品は取扱説明書をよく読み、表示も必ず確認して正しく使用してください。
「ついつい」、「うっかり」で事故は起こっていますので、気をつけてください。

⚠ このマークは、取り扱いを誤った場合、重篤な被害を負うことが予想されますので注意をお願いするものです。

nite·製品安全センター
ナイト

製品安全調査課
〒540-0008 大阪市中央区大手前4-1-67 大阪合同庁舎第2号館別館
TEL 06-6942-1113　FAX 06-6946-7280